

笠捨山捲き道（旧遞信道）の倒木処理

◇実施日 4月23日（土）

◇参加者 梶野照雄

1名 晴

4月10日の行仙宿↓東屋岳間の巡視の際、笠捨山捲き道の倒木を見つけたが、持つて行ったバッテリーチェーンソーでは処理しきれず、中途半端な形で残してきた。一本は少し不安定な状態だったので、早急な対処が必要と考えて処理に向かった。



行仙宿を出る

工事は終わっていた

現場到着

現場は行仙宿から1時間10分、先日歩いて道の状態や所要時間は良く判っているの、全く急ぐ必要がない。

24番鉄塔で行われていた送電線の工事は終わっていて、誰もいな

かった。

一本目の杉の斜木を過ぎて本命の太いヒメシヤラを目指す。途中にあった「くい丸」を一本手にする。適当な木を切つてテコにするつもりだったが、「くい丸」を使うことにした。



枝を取り除く

登山道上に

くい丸で排除

ヒメシヤラの倒木現場に到着、先日切り落とした太い枝が邪魔をして幹が下に落ちるのを妨げているので、先に枝の処理をする。障害になつていた枝を片付け、幹の先端に「くい丸」を入れて徐々にずらしていくと、幹は下に滑り落ちて登山道に横たわつた。同じように「くい丸」で横にずらして登山道横の斜面にまで動かした。

動かせない場合に備えて15mのロープや滑車などを持つてきたが全く使うことがなく、チェーンソーも枝を3ヶ所切つただけで済んだ。

杉の斜木まで戻つて、長かった幹を2ヶ所切つて安定化した。



杉倒木を切除



外れた栈木



行仙宿に戻る

予定した処理は全て終了、24番鉄塔のベンチに戻って昼食を摂る。途中の鉄橋は下部の橋を通ってみた。階段の杭が数カ所で抜けて段差が不安定になっている。落ちていた枝は全部排除した。橋はまだしっかりしていた。

午後1時半、行仙宿に戻って発電機を動かしてみるが、やはりスターターが重くてエンジン始動せず。戸締りを確認して下山した。

(記；梶野)

行動タイム

行仙宿 10:30 → 10:42 捲き道分岐 → 11:11 24番鉄塔 → 11:36 倒木現場 11:45 → 13:06 捲き道分岐 → 13:28 行仙宿